

Ji
白

全国ツアーVOL.⑩東京公演
野坂操壽×沢井一恵

Nosaka Souju x Sawai Kazuo

夜
Gen

平成24年
12月6日(木)
開場18時30分 / 開演19時

「箏」
ふたりのマエストロ

渋谷区文化総合センター大和田4F さくらホール (渋谷区桜丘町23-21)

「全席自由」 入場料:4000円(税込)

10月1日(月) 発売開始

主催・企画・邦楽ジャーナル
共催・渋谷区
後援・公益財団法人伝統文化振興財団

マラケム
十七絃・六段 (作曲者不詳)
五段幻想 ―二十五絃による (浦田健次郎作曲)
箏と十七絃による 百花譜 ―春、夏、秋、冬― (沢井忠夫作曲)
観想の佇まい (山本純ノ介作曲・委嘱初演)
青蓮華 (前田智子作曲・公募入賞作品)
二つの群の為に (沢井忠夫作曲) … 新進男性演奏家との共演

●チケット申込み・お問い合わせ●

邦楽ジャーナル 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-38-10

TEL.03 (3360) 1325 / FAX.03 (5389) 7690

Mail:how@hogaku.com http://hj-how.com/

在
Gen

絃
Gen

Ji
白

[箏]
—ふたりのマエストロ—
野坂操壽×沢井一恵
Nosaka Souju x Sawai Kazue

夜
Fen

Nosaka Souju



野坂操壽 [のさか・そうじゅ(恵子)] 箏・二十五絃箏

母初代野坂操壽から手ほどきを受け、9歳で加藤柔子に古典箏曲・地歌三絃を師事。東京藝術大学修士課程修了。1965～82年日本音楽集団団員。69年二十絃箏を開発。同年芸術祭奨励賞。86年小劇場ジャン・ジャンを拠点に、自作曲のライブツアーを3年間継続。91年二十五絃箏を発表。02年芸術選奨文部科学大臣賞。03年紫綬褒章、二代野坂操壽襲名。06年中島健蔵現代音楽賞、エクソンモービル音楽賞。09年旭日小綬章。10年箏独奏アルバム「錦木によせて」(邦楽ジャーナル)、11年「箏曲「六段」とグレゴリア聖歌「クレド」」(日本伝統文化振興財団)、二十五絃箏完成20周年記念「偲琴」(カメラータ)をリリース。10年度日本芸術院賞。11年二十五絃箏制作20周年記念として第25回リサイタルを開催。現在、桐朋学園芸術短期大学教授、公益社団法人日本三曲協会・生田流協会常任理事、生田流箏曲松の実會主宰。

沢井一恵 [さわい・かずえ] 十七絃

宮城道雄に師事。東京藝術大学音楽学部卒業。1979年沢井忠夫と沢井箏曲院設立。現代邦楽で活躍する一方、全国縦断「箏遊行」、一柳慧(作曲)+吉原すみれ(打楽器)とのコンサートツアー、ジョン・ゾーン、高橋悠治プロデュースによるリサイタルなど実験的活動を通し、伝統楽器としての箏と西洋音楽、現代音楽、JAZZ、即興音楽などとの接点を探求。99年NHK交響楽团委嘱、ソフィア・グバイドゥーリナ作曲の箏コンチェルト「樹影にて」をシャルル・デュツワ指揮でアメリカツアー。国内では、五嶋みどり(ヴァイオリン)とのプロジェクト「ミュージック・シェアリング」を展開中。2010年4月坂本龍一作曲「箏とオーケストラのための協奏曲」(初演)、「樹影にて」を佐渡裕指揮で演奏、8,000人の聴衆に感銘を与える。それを収録したCD「点と面」をcommonsより、また十七絃と五絃箏によるCD「THE SAWAI KAZUE」を邦楽ジャーナルより発売。

Sawai Kazue



*駐車場はございませんので、公共の交通機関をご利用ください。

在
Zai

*変絃自在=「変幻自在」をもじった言葉で、心のままに自由に絃を操り、音楽を奏でることを表す。

絃
Gen